

| | |
|--------------|--|
| 会議名 | 第4回港区まちづくりマスタープラン検討委員会 |
| 開催日時 | 平成28年1月22日（金曜日）午後1時30分から3時30分まで |
| 開催場所 | 区役所9階 911会議室 |
| 委員 | <p>（出席者）</p> <p>学識経験者委員：中井委員、服部委員、桑田委員、市古委員、森本委員、杉浦委員、羽生委員</p> <p>区民委員：今村委員、SUH委員、保坂委員、中島委員、堀場委員、大本委員、堀江委員</p> <p>行政委員：小柳津副区長</p> |
| 事務局 | 波多野街づくり支援部長・芝地区総合支所長（兼務）、佐野特定事業担当部長、坂本都市計画課長、杉谷土木課長、西川交通対策担当課長、齊藤街づくり計画担当係長 |
| 傍聴者 | 6人 |
| 会議次第 | <p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>（1）港区まちづくりマスタープラン 改定骨子（案）について</p> <p>（2）改定骨子のパブリックコメントの募集について</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p> |
| 配付資料 | <p>【資料】</p> <p>資料 港区まちづくりマスタープラン 改定骨子（案）</p> <p>参考資料1 主な指摘事項等への対応状況</p> <p>参考資料2 パブリックコメント募集時のホームページ掲載案</p> <p>参考資料3 今後のスケジュール（予定）</p> <p>参考資料4 委員名簿</p> <p>参考資料5 港区まちづくりマスタープラン検討委員会設置要綱</p> <p>参考資料6 第3回検討委員会 議事要旨</p> <p>参考資料7 意見交換会ニュース No. 3（各地区）</p> |
| 会議の結果及び主要な発言 | |
| 委員長 | 1. 開会 |
| 委員 | 2. 議題 |
| 委員 | （1）港区まちづくりマスタープラン 改定骨子（案）について |
| 事務局 | （説明） |
| 委員 | 28 ページの重ね合わせ図は、まちづくりの主軸となる分野4つを重ね合わせたものとなっている。文言もそのように修正するのがよい。 |
| 委員 | 24 ページの屋上緑化、壁面緑化といった表現は、緑・水の分野にも入れてはどうか。建物の低層部分についての緑化なども考えられるのではないか。 |
| 事務局 | 17 ページにコミュニティバスと台場シャトルバスのルートが描かれているが、今後バスルートを増やす方向で考えているのか。そういった方針があるのであれば、図の中に表現できるとよいのではないか。 |
| 委員 | 地域交通は、ほとんどが既存のものを描いている。広域交通と地域交通を重ねあわせて、地域交通においてどういった対応が必要か見るために記載している。 |
| 委員 | 現況と方針をどう重ねるかは、考え方によるため決まりはない。骨子では |

| | |
|-----------|---|
| 委員 事務局 | あるままの情報を広く提示し、素案作成段階では整理が必要であろう。 3ページの地区の色分けは、何か意味のある色合いなのか。 |
| 委員 事務局 | 港区基本計画地区版計画書の色になっている。色の違いが見にくいようであれば、色味の表現を工夫する。 17ページの自転車ネットワークの優先整備路線はどのように決められたのか。かなり急な坂道（薬研坂）が優先整備路線に指定されている。 「港区自転車利用環境整備方針」で、ネットワーク的な視点、連続性を確保する区間として指定された路線である。 |
| 委員 | 区民が各分野の詳細が知りたくなったときに、個別計画を参照できるようになっているとよいのではないか。どのような関連計画がこれまで策定されているか、一覧表で見られるようにする等。 |
| 委員長 | 上位・下位の関係だけでなく、各分野で策定してきた個別計画の横のつながりを持たせ総合調整するのも、上位計画であるマスタープランの重要な役割である。 |
| 委員 | 個々の計画を統括するのがマスタープランの役割である。例えば17ページでは、物流と土地利用との整合を検討する必要がある。また、23ページにプラチナ通りが示されているが、プラチナ通りがさらに良好な景観となるには土地利用の誘導が重要である。 |
| 委員 事務局 | 歩いていける範囲に公園が不足する地域の範囲は、公園から250mとのことだが、19ページの芝公園の東側の地域はどのように決められたのか。 これも個別計画（「港区にぎわい公園づくり基本方針」）で示されている。改めて記載が正しいか確認するとともに、個別計画との関連がわかるよう、記載を工夫する。 |
| 委員 | 個別計画を重ねあわせた結果、齟齬が生じるのは自然なことであり、齟齬を調整するのがマスタープランの役割である。 |
| 委員 | みどりに関しては、自然のポテンシャルの保全・確保のためのものと、オープンスペースとして人の活動に寄与するものとの大きく2種類がある。その2つが図の中で同じように表現され、混同されてしまっているため、各みどり空間の意義や機能がわかりづらい。また、先ほど地域交通に関しても、現状なのかこれからの方針なのかわかりづらいという指摘があったが、他の分野でも同じように現状と今後の方針との混在がみられ、その表記のされ方も各分野で統一されていない。実線（現状）・破線（今後）の違い、塗り（現状）・パターン（今後）の違いなどの表記の仕方は、全分野共通で統一された方が区民にとってもわかりやすい。 |
| 委員 | 将来都市像についての文言は、主題と副題の関連性が見えてこない。副題の内容や表現をもう少し吟味した方がよいのではないか。 |
| 委員 事務局 | 方針図について、全体的な色使いの統一感がない。統一感があると読んでいる側が理解しやすい。その点配慮いただきたい。 可能な限り配慮していきたい。 |
| 委員 | 26ページの国際化・観光・文化については、独立して存在する考え方というよりは、他分野と関連するところが大きい。他の分野においてまちの魅力の維持・向上に関連する内容について、再掲できるとよい。 |
| 委員 | 21ページの図には、ぜひ延焼遮断帯（特定・一般の2種類）を記載していただきたい。 |
| 委員 | 20ページの③では、事前復興について「復興まちづくり訓練など」といった文言を冒頭に追記するのはどうか。 |
| 委員 | 首都直下地震が発生した際のマスタープランの位置づけについて、どこかに記載できるか検討いただきたい。例えば、6ページの1段落目など。災害時に復興の計画を立てるにあたって、平常時からどういったまちを目指 |

| | |
|----------------------------------|--|
| 委員 | すのかを考えておくことが重要であり、マスタープランにはそれを示す役割もある。 |
| 委員 | 港区の土地利用は2次元ではなく3次元であることが特徴である。9ページのゾーンごとに、3次元的な表現（写真、パース、鳥瞰図など…）を追加できないか。 |
| 委員 | 30、31 ページを見ると、「環状第2号線」、「新虎通り（環2）」といった表現が見られる。一般の人が見てわかりやすいよう、書き方を統一していただきたい。 |
| 委員 | 30 ページからの地区ごとの図では、文化財の凡例に着色がなくわかりづらい。 |
| 事務局 | そもそもなぜ文化財をここまで細かくプロットしているのか。「国際化・観光・文化」については、各地区でやりたいことの実体性も見えてこない。何を売り・特徴と捉えているのか。具体的な像が個別計画で示されているのであれば、それを書き込むのがよいのではないか。 |
| 委員 | 事務局では現時点ではなかなか見いだせていないところであり、ご指摘いただいた点は、継続して検討し、素案作成段階で配慮していきたい。今回、地区別の完成度が高くないことは事務局も認識しているが、書けることは書き、パブリックコメントで区民の意見をいただきたいと考えている。 |
| 委員 | 高輪地区では、コミュニティの再形成について、かなり重要な点として話し合われてきたように思う。新旧の融合が課題として挙がっていたが、その点の表記が弱いように思う。景観だけでなく、住民も新旧の融合が課題である。 |
| 委員 | 一般の方が計画を見るときには、視覚的な要素が重要である。今の図からは何が重要であるか把握しきれない。20年後のまちの姿が想像つかない。将来像が見えるものが別に示されているとよい。 |
| 委員 | 芝浦港南地区の意見交換会で、この地区のまちづくりの方向性がかなりまとまってきたので、地区別まちづくりの方針に取り入れてほしい。 |
| 委員 | ビジュアル的に誰が見てもわかりやすいようなものを取り込んでいただきたい。表現としての工夫もしていただきたい。 |
| 委員 | 40 ページの③は、1点目と2～4点目は階層の異なる話であり、体裁を修正していただきたい。また、教育機関との連携も視点として大切であるため、追記いただきたい。 |
| 委員 | 13 ページの図では、地区別で拠点として特出しできるものがあれば、それを落とし込めるとよい。 |
| 委員 | 高輪地区の将来的な話でいうと、新駅ができるのは大きな出来事である。図の中にも入れていただいた方がよいのではないか。また、環状第4号線も通る予定であり、インパクトとしては大きなことである。 |
| 委員長 | JR 操車場跡地は、住所としては芝浦港南地区であるが、周辺の開発との一体性を考えると、高輪地区との関連の方が強くなると考えられる。地区の境界部分の記載については、臨機応変にわかりやすく示してほしい。 |
| 委員 | 8 ページの3つのゾーンと各地区とが繋がっていない印象がある。可能であれば、何かしらマトリックス図を作っていただけるとありがたい。 |
| 副区長 | 個人的な意見になるが、将来都市像の副題「歴史と未来が重層…」について、歴史と未来だと「重層」ではなくもっと溶け合うイメージではないか。将来都市像については事務局としても今後検討していきたいが、アイデアがあればぜひいただきたい。 |
| （2）改定骨子のパブリックコメントの募集について （説明） | |

| | |
|-----|--|
| 委員長 | <p>鑑文に、検討委員会における検討状況のことも書いていただきたい。クリックすると、検討委員会の資料や議事要旨が見られるとなお良い。</p> <p>3. その他 (説明) 今後のスケジュールについて</p> <p>4. 閉会</p> |
|-----|--|